

# ひしのみだより

平成30年11月30日発行

発行責任者 千住由一朗

今年もあと一ヶ月となり、北風に思わず背中を丸めてしまいそうになりますが、子どもたちは、寒さを感じさせないほど元気に園庭や室内で遊んでいます。

先週の「わくわくの会」は、多くの皆様方にご参観いただき有り難うございました。ご覧いただいた感想はいかがだったでしょうか。子どもたちは、たくさんのお客さんの前で、ワクワクドキドキしながらも、友達と一緒に思いっきり表現遊びができたこと、とても楽しかったこと、多くの人に見てもらったことなどで満足しているようでした。ご家庭の皆様にとっては、笑いあり、驚きあり、感動ありの、まさにわくわくしたひと時ではなかったでしょうか。



さて、ニュースで「風疹の大流行」が報道されていました。また、インフルエンザが流行する時期にもなりましたので、ご家庭でも、手洗い・うがいや適度な湿度の保持、十分な休養やバランスのよい食事等に心がけ、感染予防に努めましょう！

## 入園手続き受付中です。お早めどうぞ！

現在、平成31年度に向けて、入園申し込みを受け付けています。まだ手続きがお済みでない方は、できるだけ早くお願いいたします。来年度のクラス数や職員数の確定を12月中に行い、新年度に備えたいと考えています。

入園を迷われている方には、随時、見学も受け付けております。見学や体験入園等を通して、お子様にぴったりのこども園を見つけて頂ければ思っております。

## 「社会生活との関わり」の幼児期の終わりまでに育てほしい姿とは！

「家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる」姿です。

(例)

- ・親や祖父母など家族から愛されていることに気付き、家族を大切にしようとする気持ちを持つようになる。
- ・小学生、中学生、高齢者や働く人々などとの触れ合いの中で、自分から親しみの気持ちを持って接し、自分が役に立つ喜びを感じるようになる。
- ・地域の伝統的な行事などへの参加を通して、自分たちの住む地域のよさを感じ、地域が育んできた文化や生活などの豊かさに気付き、一層親しみを感じるようになる。
- ・目的に必要な情報を得て友達同士で伝え合ったり、活用したり、情報に基づき判断しようとしたりするようになる。
- ・公共施設を訪れ、それが皆の物であり自分に関係の深い場所であることが分かり、大切に利用するようになる。

